

## プラスナイロン株式会社



本社工場前で、環境管理責任者の  
本多様（左）と環境事務局の谷口様

＜主な業務内容＞  
繊維製品の製造・販売  
＜KES ステップ2登録日＞  
2005年10月



島原工場

今回お邪魔したのは、[長崎県島原市](#)にあるプラスナイロン株式会社です。

市場をリードする繊維商品を企画・提案・開発し、製品は、専門店・ドラッグストア・全国の主要小売店のPB商品として販売されています。

環境活動と生産性向上活動を連動して、本社工場と島原工場がKESを推進しています。

### きっかけ

環境活動は、生産効率化活動と同じく、今後の生き残りの条件であると認識し、取引先から紹介のあったKESに取り組んでいます。

生産品には、特殊な医療用（手術用）ソックス等があり、いろんな規制対応や資格が必要であり、製品のトレーサビリティや高い品質が要求されています。

その技術や仕組みを、汎用製品に応用することによって、市場で高い評価を頂いています。

### 環境改善の取組み

目標として、「電気使用量削減」、「重油使用量削減」、「一般廃棄物削減」「工場周辺の清掃」、「地域貢献・資源の有効活用」等、一般的な目標だけでなく、品質や生産性向上活動を徹底して、環境負荷を削減しようと「工程不良率の削減」「残業時間の減少」目標にも取り組んでいます。

## 1. 電気・重油・資材の使用量削減

(1)電気使用量削減：設備機器管理の徹底、LEDの一部導入等節電対策

(2)重油使用量削減：ガスボイラへの更新、40℃の染色用水に  
90℃の排水熱を活用するために熱交換器を改造

(3)資材の使用量削減：ナノバブルを活用した染料新攪拌機を  
導入して、使用副資材等を大幅に削減

なお、専門業者による省エネ講座学習や、[省エネルギーセンター](#)  
による専門家診断を受けています。



熱交換器の改造

## 2. 廃棄物の分別・リサイクル

排出される汚泥は、建設資材にリサイクルされており、毎年リサイクル処理場の確認・監査  
を実施しています。

また、社員が各家庭の廃食用油を集め、バイオディーゼルの原料用に提供しています。

## 3. 品質・生産性向上

生産性・品質など徹底向上することが、環境負荷を減らすため  
工場のアクションプログラムの一環として推進しています。

(1)工程不良率削減—設備管理・工程習熟・教育訓練 等

(2)残業時間短縮—生産性向上・出勤率確保・切替えロス減少・  
多能工化 等

(3)工具管理 週3回のマシン砥ぎ・定置管理 等



工具管理コーナー

### これからの環境活動

新たな環境管理最高責任者である荒木代表取締役副社長の「KES は楽しそう」との最後の感想が印象的でした。今後は、発想を変え、日々新たな気持ちで取り組めるように、環境教育活動や生物多様性に配慮したピオトープづくりなども検討・推進していきたいとのことです。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。